

理事会報告書

1. 概要

	臨時理事会
日時	令和6年4月30日 18:30~20:10
場所	Web会議
出席者	理事 大山盛樹、山下潤一郎、小泉徹児、小無田彰仁、重松康志、大石勝規、永木照彦、 浦川純二、志岐浩二、小柳 傑、飯野朋彦、笹原順哉、池田章子、森健次郎 監事 平野英三、柿田謙三、大木田治夫 書記 大月雅之、狩浦圭介 事務局 坂井孝行

2. 理事会議題と決定事項

(1) 審議事項

1) 令和5年度 介護保険研修会の決算について

標記について、予算が267,950円に対し支出が283,923円でマイナス15,973円。PT単独の支出が104,000円、三団体の合計が179,923円。マイナス分は中島部長が立て替えている。中島部長への支払いと、OT負担分の53,977円、ST負担分の17,992円それぞれを請求する手続きを行う。審議の結果、提案通り可決された。

2) 令和5年度 事業報告について

令和5年度の事業報告について、126事業のうち116事業実施、10事業が中止。達成率は92.1%。審議の結果、提案通り可決された。

3) 令和5年度 決算報告について

収入合計が28,124,881円。支出合計が28,385,543円。内訳は事業費と管理費。事業費が22,243,663円、管理費が6,141,880円。公益事業比率は78.4%。去年は71%だった。正味財産期末残高が3,716,582円。これを令和6年度に繰り越す。流動資産が17,199,097円、特定資産は次の記念式典のために積み立てている分で339,106円。資産合計は17,656,582円。令和6年度の会費は13,940,000円で前受け金に入っている。審議の結果、提案通り可決された。

4) 令和5年度 監査報告について

監査を4月27日13時から17時30分まで行った。場所は事務局、出席者は大山会長、山下副会長、小無田事務局長、笹原理事、増村部長、事務員2名、平野監事、柿田監事、大木田監事。結果、事業報告、決算報告は公正に管理運営されていると認める。理事の職務執行は不正等なく適正に行われていることを認める。考察として、各理事は各事業費を予算内に収める努力をしていることを認める。審議の結果、提案通り可決された。

5) 学術研修会企画案について

令和6年度、3回の学術研修会と、1回の理学療法士講習会の企画案。第1回学術研修会を7月に予定。例年講師の質を高めに上げて内容も難しいが多かったが、今年度は参加の少ないと言われる5年目から10年目までを対象とする。技術研修は対面、講義中心のものはオンライン。審議の結果、提案通り可決された。

(2) 報告事項

1) 令和6年度 定時総会の準備状況について

現在会場準備は折衝中。看板は金額が高く、材質、大きさ含め検討中。表彰報告に日本理学療法士協会賞を追加。

2) 県民表彰祝賀会の準備状況について

開式の辞を大山会長、来賓祝辞を下条先生、総司会を小無田事務局長にお願いする。乾杯の挨拶、閉式の辞は検討。

(3) その他報告事項

1) 九州理学療法士サミットについて

九州ブロック会の計議をサミットという形で、7月6日12時から17時まで開催予定。会場は八仙閣。事務局長会議、学術担当者会議、災害対策担当者会議、管理者ネットワーク担当者会議、職能関連担当者会議を分科会という形で執り行い、最後に士会長会議。その後、懇親会予定。分科会の担当者は検討。

2) 選挙について

本日、加藤竜祥さんが事務所に挨拶に来られ、ポスターを置いて行ったとのこと。